

12月号では、「講師派遣」について、ご紹介しました。

今月は、「家庭でできる親と子の『お金教育』」について、ご紹介します。

## 家庭でできる親と子の『お金教育』

現在では「お金の教育」が子どもの自立の必須となっています。お金の教育は、子どもがお金との付き合い方を学び、働いてお金を稼ぐことや、収入（小遣い）内でやりくりし、貯金を管理（投資）して上手に使うなど、その全てがしっかりできる大人に育てていくのが目標です。

### ◆お小遣いの使いみち

お小遣いを渡すときは、子どもが、お小遣いでまかなう範囲（文房具代は、親が出すのか、子どもがお小遣いで買うのか等）や、お小遣いの渡し方（定額制にするのか、お手伝いをした場合のお駄賃として渡すのか等）をよく考え、お小遣いのルールを決めることが必要です。自分が自由に使える分と、急な出費に備えた貯金分が必要であることも話しておきましょう。

また、子どもから、お小遣いや貯金の額を超えて「欲しいものがある」と相談された場合は、本当に欲しいものかどうかを見極められるよう親子で話し合しましょう。話し合いの結果、前借りを認める場合は、返済の事まで取り決めて貸しましょう。お金を借りるには、「信用」が必要であることを、しっかりと理解させることが大事です。

### ◆買い物で総合学習

子どもはある一定の年齢になると、自分の小遣いでの買い物だけではなく、テレビや車など「家族の購買」に影響力を及ぼすようになります。大きな買物の話し合いは学習の機会です。ぜひ子どもを参加させてください。

また、夕飯の買い物など子どもに任せてみましょう。買い物は、物の値段を知るようになることだけではなく、予算内に収めること、衝動買いをしないこと、品質表示や賞味期限に注意することなど、総合学習の機会となります。



### ◆おこづかいきろく（こづかい帳）

子ども達が健全な金銭感覚を身につけるため、おこづかいきろく（こづかい帳）を子どもに付けてもらうようにしましょう。できるだけ多くの金額を貯蓄することにより、夢や目標に向かってお金の面でもコツコツと計画的に工夫や努力をしたり、必要なものをよく考えて買う習慣を付けることが大切であると考えられるからです。

おこづかいきろくはダウンロードできます。親子で一緒に作ってみましょう。

<https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/kozukai/>



### ◆家計夢ノート

家計簿を初めて付ける方、家計管理が難しいと感じている方にとって、いつでも始められる家計の練習帳として「家計夢ノート」をご紹介します。あなたの暮らしのパートナーとしてぜひお役立てください。

[https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/yume\\_note/](https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/yume_note/)

